

○ 資源について（紙の分類）

Q 杉並区から転入した者であるが、品川区の資源（再生紙）の出し方は複雑すぎる。紙の分類も多数分かれており、かつ、それらを紐でむすばなければならない。このため、品川区では、資源（再生紙）として利用できるものも燃えるごみとして出している人が散見される。杉並区では、資源（再生紙）は紙袋にまとめて入れればよいので、紙の再利用に協力的であった。この点について、品川区でも改善する余地はないだろうか。検討してほしい。

A 資源（古紙）の出し方についてですが、品川区（行政回収）の分け方・出し方は、以前にお住まいになられていた杉並区と同様で、新聞（折込チラシを含む）、雑誌、段ボール、紙パック、紙箱（杉並区では雑紙）の 5 種類に分別していただき、出し方はヒモでしばるか紙袋に入れて週 1 回の資源回収日に資源回収ステーションに出していただいております。古紙だけでも 5 品目の分別をお願いしており、区民の皆様には大変なご面倒をおかけしていることと思いますが、分別することにより品質の良い再生品にすることができますので、なにとぞご協力をお願いいたします。

今後も、分別の徹底を周知してまいりますので、引き続きごみの減量・リサイクルの推進にご協力をお願いいたします。

（品川区清掃事務所）